

押さえておこう！情報の特徴と信頼性の見極め方

レポート・卒論作成時に使う情報は、自分の主張を述べるときの証拠（裏づけ）になるため、その情報の**信頼性**を見極めることが重要です。それぞれの情報の特徴をふまえて、レポート・卒論に適した内容かどうか判断してください。

図 書 ～文献収集の基本中の基本！～

信頼性を見極めポイント

- ☑どんな経歴の人が著者か？ ☑出版年はいつか？改訂版があるか？
- ☑引用・参考文献リストが付いているか？ ⇒ その本の内容が何を根拠に書かれているか評価できます。また、その文献情報がさらなる情報になります。

一般的に図書は、研究者や専門家によって書かれ、編集者や出版社の手を経て発行されるので、内容について責任の所在が比較的明確です。

速報性：低



COLUMN

テーマの概要を体系的に知りたいときは？

入門書・概説書・新書が役に立ちます。
「〇〇学入門」「〇〇学を学ぶ人のために」「はじめての〇〇学」等をキーワードにして図書館の本を探してみてください。

新 聞 ～さまざまな出来事を素早く報じる！社会的な動向なども～

速報性：高

信頼性を見極めポイント

同じ出来事に対する報道でも、新聞社によって主張が異なる場合があります。客観的に情報を判断するためには、複数紙を読み比べてみましょう。



COLUMN

新聞にもいろいろあります！

内容

- ・全国紙 ⇄ 地方紙
地方紙はその地方に関する記事が載っています。
例)「河北新報」「信濃毎日新聞」「西日本新聞」等
- ・一般紙 ⇄ 専門紙
専門紙は特定の分野に関する記事が載っています。
例)「運輸新聞」「日経産業新聞」「日本教育新聞」等

形態

- ・原紙
しほくさつばん
- ・縮刷版（1ヶ月分の原紙の全ページをA4サイズに縮小して本にしたもの）
- ・オンラインデータベース（著作権の関係から収録されていない記事があります。その場合は、新聞の原紙や縮刷版で記事を調べましょう。）
- ・WEB版



COLUMN

URLのドメイン名から発信者をチェック！

- co.jp：企業等
- ac.jp：教育機関
- go.jp：政府機関
⇒ 比較的信頼性が高い
- .com：商業組織
- .org：非営利組織
⇒ 誰もが取得可能なため、事実に基づいた内容のみが書かれているとは限らない

一般的なサイト

～簡単！便利！でも、情報の信頼性に注意～

信頼性を見極めポイント

速報性：高

- ☑サイトを作成しているのは誰か？
- ☑最終更新日はいつか？
- ☑サイト内のデータには作成元が示されているか？

インターネット上の情報は誰でも発信できます。そのため、情報の評価をより慎重に行わなければなりません。

最近では、それ
インターネット

その情報が
でも見られます。

データベース NAVI

～情報収集の強い味方～

学習院大学が契約しているデータベースや、レポート・卒論作成に適している図書館員が選んだ信頼性の高いサイトを集めたページです。

- データベースアクセス方法は、 p.24-25
- 学外からのデータベースアクセス方法は、 p.26-27
- よく使われる代表的なデータベースは、 p.28-29 をご覧下さい。

辞書・事典 ～言葉の意味や事柄を調べたければこれ！～

速報性：低

信頼性を見極めポイント

ある言葉や事柄についての定説、通説がその分野の専門家によって書かれているため、情報を調べるときに最も信頼性が高い資料と言えます。ただし、出版までに時間がかかるため、新しい言葉や事柄は載っていない場合があります。

辞書 言葉の定義

事典 ある事柄に関するまとまった解説 例) 人名事典、百科事典、専門事典（掲載項目が専門分野に特化されている）
本によって解説が異なる場合があるので、複数の辞書・事典を見比べましょう。

さらに、特定分野の専門的な辞書・事典もあります。
例)「コミュニケーション事典」、「情報学事典」、「現代用語の基礎知識」等



COLUMN

キーワード探しの強い味方！

言葉の正しい表記や、関連語等、キーワードを増やしたいときにも役立ちます。(p.10 参照)

雑 誌 ～エッセンスが詰まった専門情報！～

信頼性を見極めポイント

基本的には、図書と同様です。

学術雑誌

研究者が自分の研究成果を論文として投稿し、学術的な事前審査（査読）によって水準に達した論文が載せられます。テーマに関する専門的な情報を得ることができます。

一般雑誌

一般的な書店等で購入でき、主に時事的テーマの記事を、様々な著者（記者）が書いています。レポートに使う場合は、インターネット上の情報同様、情報の評価をより慎重に行う必要があります。

速報性：中